

「腹立つ」できごとへの対処に関する
認知行動療法的な支援
- 広汎性発達障害の一症例 -

福田美絵子 宇田川智美
田中睦美 斎藤歩美 斎藤佳那
水流一詩 田邊恭子 田野彩
岡和田景子 佐々木剛 中里道子
伊豫雅臣

千葉大学医学部附属病院
こどものこころ診療部



症例 13歳 男児

主訴：学校で友達を叩いてしまう、
予定通りでないときパニックに陥る

発育歴：妊娠中出生時に特記すべきことなし。
3ヶ月であやすと笑い、始歩10ヶ月
発語は1歳6ヶ月で1語、2歳で2語文
手先の不器用さ、こだわりの強さが目立った。

家族歴：両親、妹。負因(-)



現病歴

2歳時に海外に転居、2歳4ヶ月に幼稚園に入園した。一人遊びが多く、抑揚のない独特の言い回しが目立ったため、専門医を受診、自閉性障害の診断を受けた。

4歳頃より、多動が目立ちはじめ、メチルフェニデート主剤に薬物療法開始。

6歳時に小学校入学し、12歳まで、健常児と高機能障害児の混合クラスに在籍。

9歳頃より、授業中に教室で大声を出したり、普段と予定が変わるとパニックに陥り、クラスメートを突き飛ばしたりすることが増えた。コミュニケーション、言語のスキルトレーニングに通所。

13歳時帰国。特別支援学級中学1年に在籍中。フォローアップを希望し、当院児童精神科を受診。



初診時現症

- ★ 母親同伴にて受診。視線は合い、質問に対しては、抑揚のない独特の口調で一方的に自分の興味に偏った話題を話す。
- ★ 対人的相互作用の質的障害、意思伝達の質的障害、常同性保持の傾向が認められ、随伴症状として衝動制御の問題が認められる。



心理発達検査: PARS

幼児期得点 17点 (> 9点、PDDが強く示唆)
対人関係 1/8, コミュニケーション 8/12,
こだわり 4/14, 常同行動 2/8,
困難性 0/14, 過敏性 3/10

思春期・成人期 41点 (> 20点、PDDが強く示唆)
対人関係 7/8, コミュニケーション 10/14,
こだわり 9/12, 常同行動 - ,
困難性 11/22, 過敏性 4/6

総合評価

幼児期に少なかった、対人相互性の問題が思春期以降に顕著になっている。

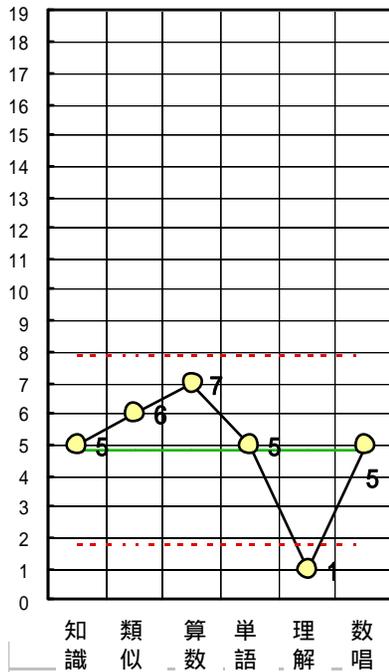


WISC

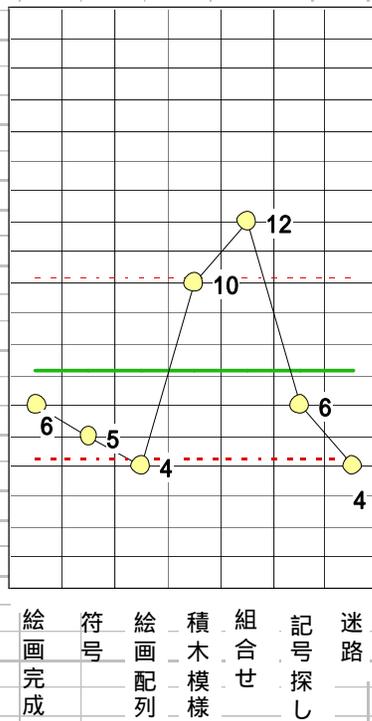
(12歳11ヶ月時)

下位検査評価点

言語性検査

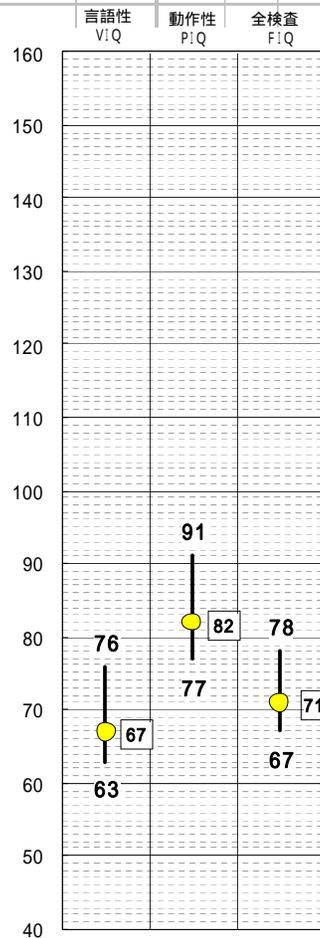


動作性検査

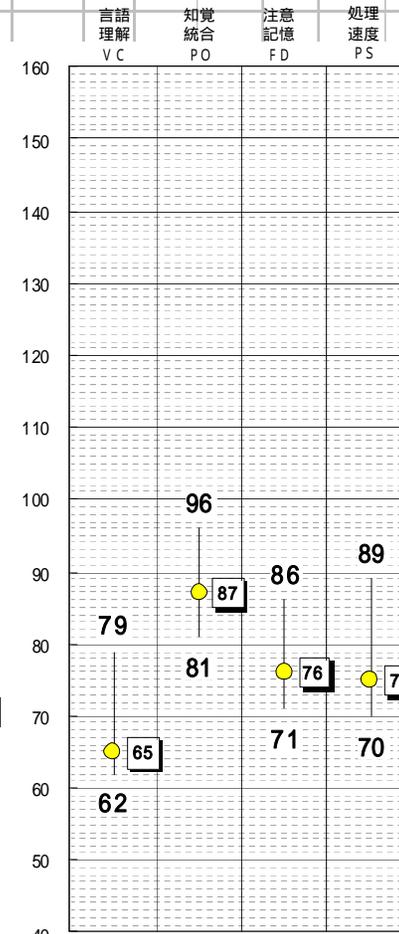


信頼区間
(90%)

IQ



群指数



(WISC- ver 6)

ADHD-RS

【家庭版】

不注意 21点(96%), 多動衝動性 16点(92%) 合計 37点(96%)

【学校版】

不注意 21点(88%), 多動衝動性 14点(84%)
合計 35点(89%)

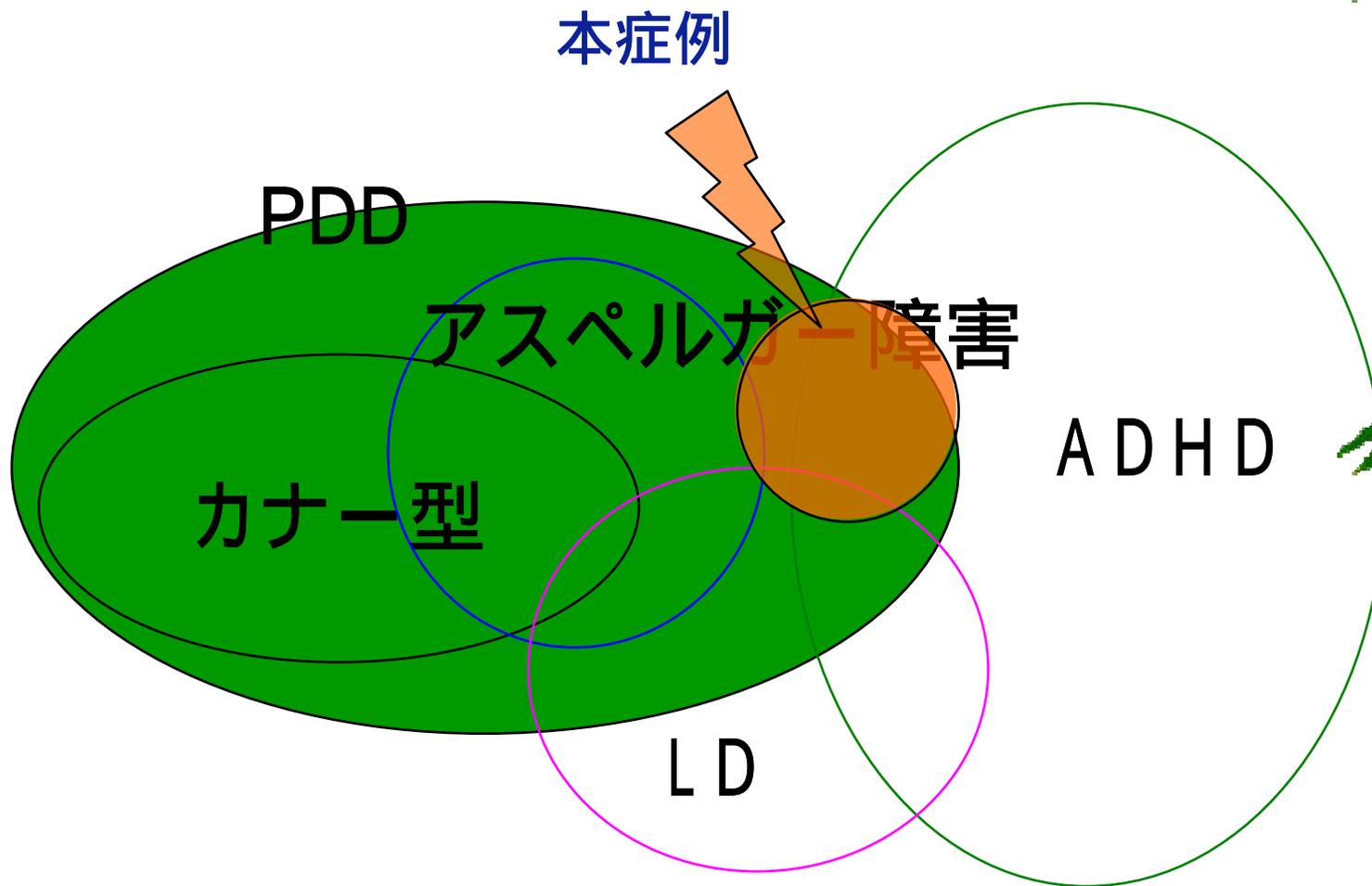


総合評価

- ★ PARS; 高汎性発達障害が強く示唆される
- ★ ADHD-RS; 不注意、多動、衝動性のいずれも高傾向
- 対人関係の質的な問題
- 衝動制御の問題
- 多動・不注意の傾向
- ★ 診断 DSM-IV-TR
アスペルガー障害



自閉症スペクトラムにおける本症例の診断



本症例に対する支援の方法

- ★ 対人関係の問題のきっかけとなる「腹が立つできごと」への対処に**認知行動療法**を導入
- ★ 環境調整 学校との連絡と情報交換を密に行い、本人の特性に合った支援を勧める
- ★ 療育支援のための社会資源の活用
- ★ 薬物療法 衝動性制御を目標にリスペリドン
1mg 眠前1回を開始

参考文献: 大丈夫自分で出来る怒り消火法 明石書店

「腹立つ」できごとへの対処作戦 その1

★ メタファを用いる

「腹立ち」は火事にたとえ、「角パンダ」を登場させて怒りを和らげる

心の感情を信号機の色で表現する。

★ 対処行動

- カウントダウン(ゆっくり数を数える)
- 好きなぬいぐるみのキャラクターを触る
- 「もしもし電話」作戦 (家に電話をかける真似をする)
- ゆっくり深呼吸する
- 叩こうとする手で自分を抱きしめる。
- 怒りを運動で昇華させる。(もも上げ)



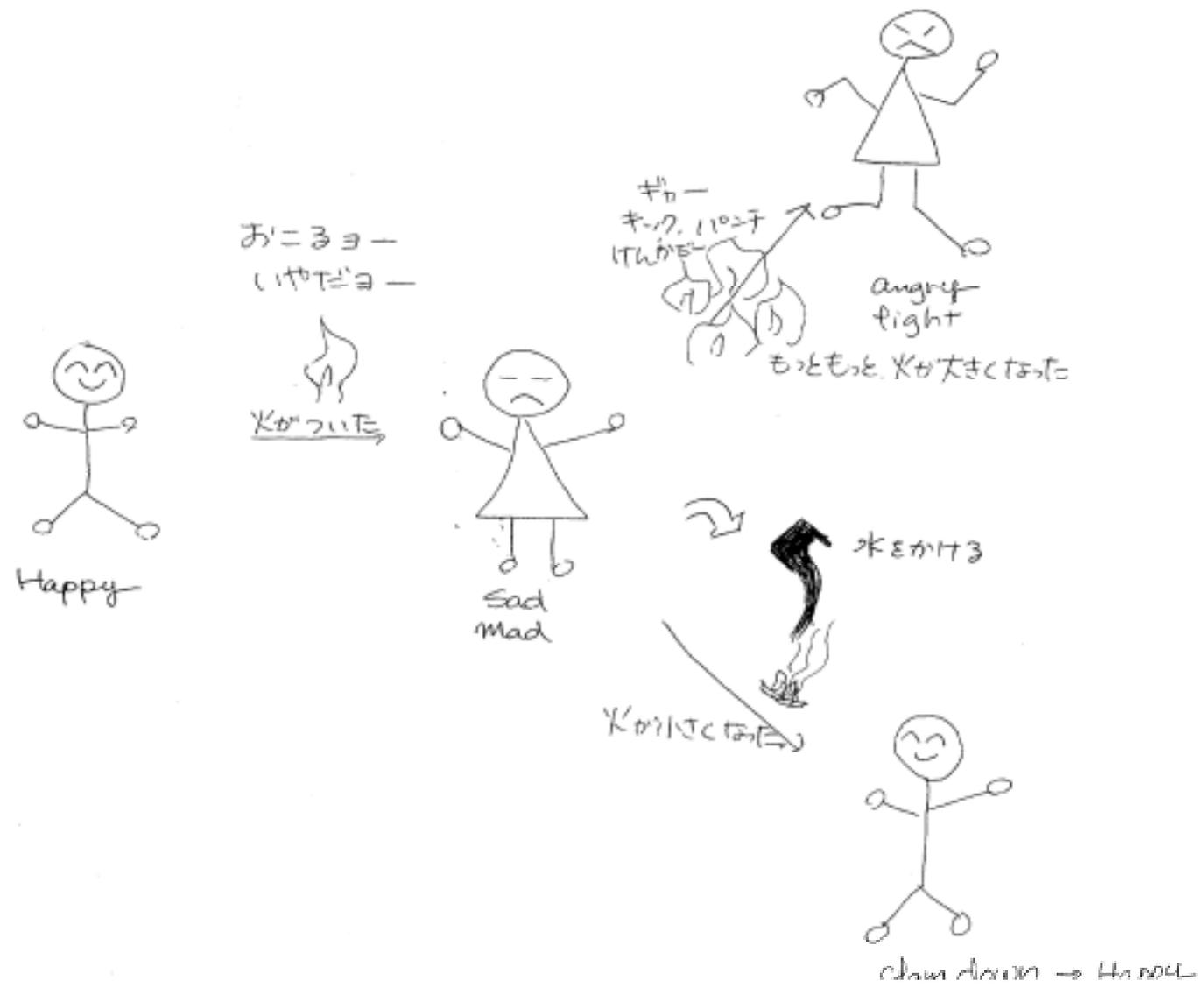
「腹立つ」できごとへの対処作戦 その2

- ★ **助けを求める サポーターに応援を頼む**
(援助体制の明確化)
 - 学校の先生に支援を依頼
(主治医から手紙を書く)
 - 家族の協力

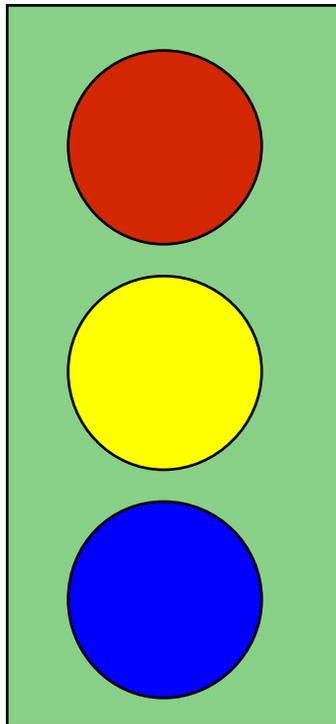
- ★ **うまくいったらご褒美**(報酬系の設定)
セッションで、好きなキャラクターのシールをはる



怒りを火にたとえる



「腹立つ」気持ちを信号で表現



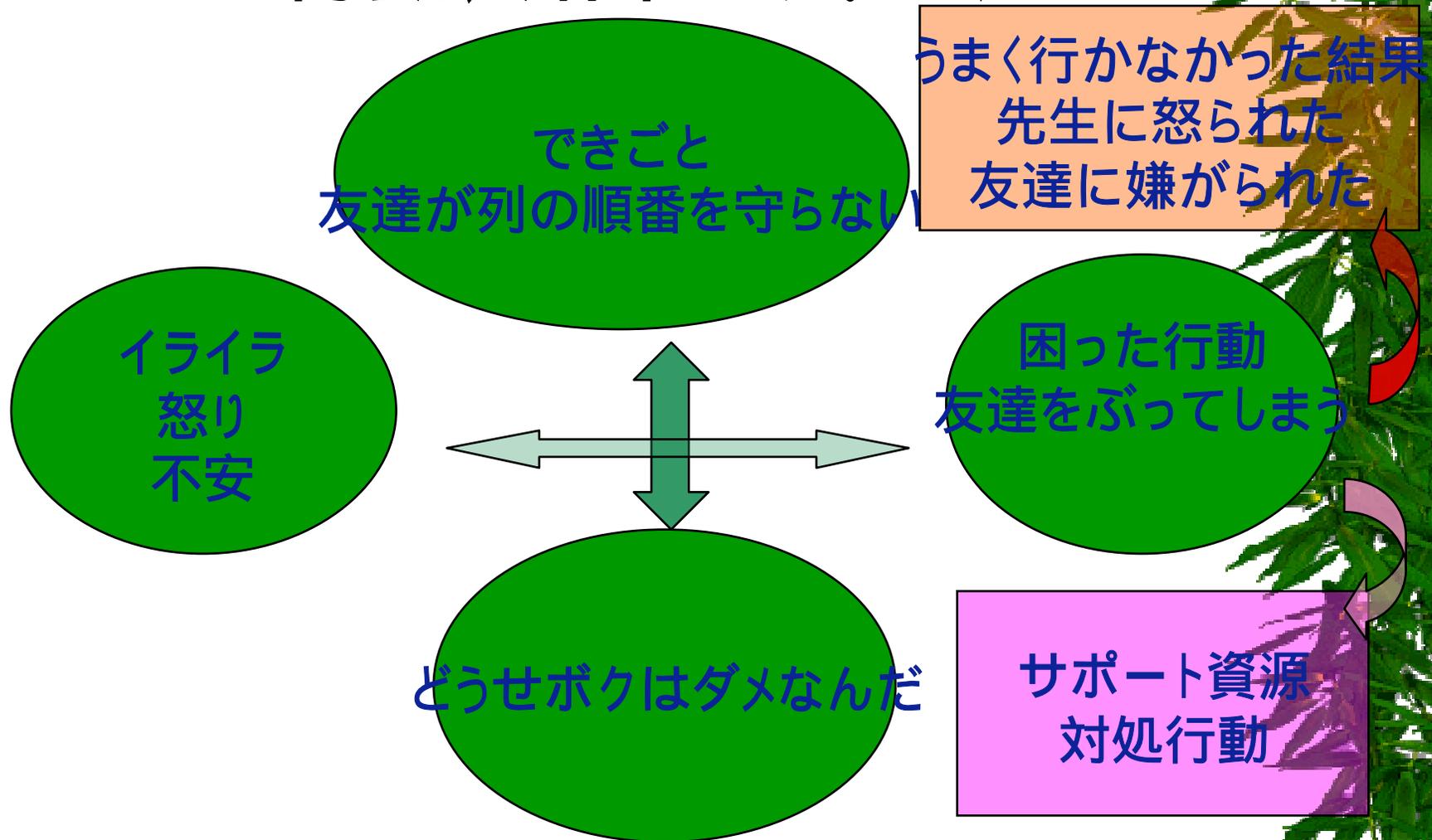
ストップ！「腹立つ」信号でパニック

要注意！「腹立つ」爆発の一步手前

大丈夫。「腹立つ」信号を上手にやり過ごす

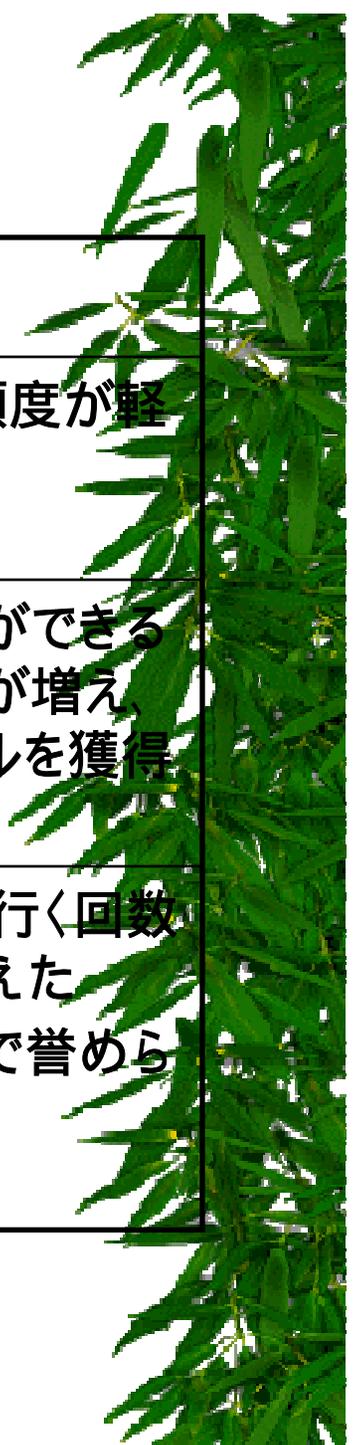


「腹を立たせた」出来事と 行動、結果に気づく



治療経過 1

セッション	できごと	問題行動	対処法	結果
1	友達に定期を取られる	大声を出す友達を叩く	呼吸法 通学時間をずらす	叩く頻度が軽減
2	先生の転勤	宿題ができずにパニック	父と一緒に好きな場所、時間で宿題をす	宿題ができる時間が増え、シールを獲得
3	友達にからかわれる	リコーダーで叩く	怒りが生じる前に先生に伝える、カウントダウン	うまく行く回数が増えた 学校で誉められた



治療経過 2

セッション	できごと	問題行動	対処法	結果
4	卒業式の準備で下校時刻が遅れる	パニックになる、友達を叩く	怒りを火事、角パンダのメタファを用いて対処、担任に相談し下校時刻を早くする環境調整	下校時刻を調整し、パニックが減る
5	新学期、好きな先生が転勤	移動教室のときに落ち着かなくなる	予定をあらかじめ確認、新しい先生に助けを求める	移動教室の時も友達と行動できる。先生に誉められた

介入の原則

- ★ Predictable: 予測可能な環境づくり

例: 順序や道順、どのように

- ★ Perceptual: 知覚可能な手がかりを

(言葉での約束や、概念的な規則が頭に入りづらい)

例: 場面を図示する、なるべく具体的に

- ★ Present concern: 今現在の関心ごとに注意が向きやすい

(その時に頭を占める事柄が行動を左右する)



介入の原則2

- ★ **早期介入**

- ★ **環境調整**

構造化された治療環境が望ましい。
行動療法、言語療法、適応技能教育

- ★ **家族心理教育**

障害に関する教育、言語学習、自助技能、適応技能
の習得

- ★ **地域の支援の利用**

特殊教育、就学・就労支援、地域のその他のサービ
ス機関など

- ★ **薬物療法**

けいれん、衝動性、睡眠障害、並存する精神障害の
治療に向精神薬が有効な例もある



まとめ

広汎性発達障害、多動、衝動制御の問題を抱える13歳の男児で、友達を叩く、予定通りでないときパニックに陥る等の困りごとに対して、薬物療法、認知行動療法を用いた介入が有効であった症例を提示した。

